

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>全体的な計画には、「すこやかに・のびやかに・しなやかに」を保育目標に職員皆で育て合える保育を基本理念とした、心と体のバランスを取れた保育内容が組み込まれている。これらの保育方針や目標については園内に掲示し、毎月、定期的な職員会で再確認している。また年度末には見直しを行っている。特に、子どもに対して否定語を使わず、一緒に考えていく姿勢を職員間で共有している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園舎は、内装や床、トイレや水回り等の環境も整っており、木のぬくもりを感じながら心地良く過ごす事ができている。また、室内の採光、換気、空気の清浄等も配慮され、清潔で明るく過ごせるように工夫がされている。保育室にはコーナーが設定されることで、遊びの広がりやくつろぎが確保されており、そこに家庭的な温かさも感じられる。食事時には保育室の整理整頓を適切に行い、食事の空間を確保している。屋外の遊具や砂場、プール等は、安全や清潔に配慮されている。また、園内の掲示等の表現は、否定語でなく、子ども自身が気づき、考えていくようなわかりやすく工夫された言葉遣いがなされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりの発達段階を把握し、一人ひとりの子どもに応じた関わりに努めている。表現が不十分な子どもに対しては、表情やしぐさを見逃がさないようふれあいやスキンシップを図りながら、子どもの思いの理解に努めている。また、ゆっくりわかりやすい話し方、肯定的な言葉がけを心がけ、制止する言葉は危険に繋がる場合以外は使わないように心がけている。さらに、子どもを受容していくために、家庭環境や生活リズム、一人ひとりの子どもの発達等から生じる個人差を十分に把握し、職員会や年齢別話し合い等で、職員間の共通理解を深めるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c

<p>良い点／工夫されている点： 基本的な生活習慣や健康増進のための習慣や態度を身につけられるように、子どもの状況を把握し、できる限り強制や制限をせず、一人ひとりの子どものリズムや気持ちに添った関わりをし、子どもが達成感を味わえるよう支援している。また、子どもが自分でやってみようと思う気持ちが育つように、年齢に応じたマークや写真を用いる等、わかりやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 子どもが主体的に活動できるように、子どもたちそれぞれの発達や季節に応じた玩具や遊具、素材や用具を用意し、自由に取り出して遊んだり、自由に遊ぶ事ができる時間を確保する等して、子どもの主体性が発揮できるような働きかけをしている。また、周辺には公園があり、3歳以上は歩いて、未満児はキャリアで出かけ、自然に触れる機会を大切にしている。帰園してからその自然体験を調べたり、製作したりできるようにもしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 4月当初に限らず、月初ごとに新しく入園する子があり、固定した担当制ではなく、随時、子どもとの愛着関係を重視して対応できるよう、職員体制を配慮している。連絡ノートによる生活の伝達に留まらないよう、送迎時に直接家庭での様子を聞く等して連携を密にし、保育にあたっている。さらに、その時、その時の子どもの気持ちに応える関係(応答関係)を大切にしている。 子どもがすぐ手に取れるようにおもちゃを配置し、音や色等興味を持てるように工夫している。また、安全や清潔に配慮し、子どもの生活リズムに応じて抱っこしたり、おんぶしたり、言葉をかけたりのスキンシップを通して、情緒の安定を図り、丁寧でゆったりとした保育を心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 日々の保育の中に、手作りの玩具で積んだり並べたりして文字や数字の概念の芽生えを育むようにしている。特に、一人ひとりの発達に応じた玩具の準備を大切に行い、子どもの午睡時間及び土曜保育の時間を使用して、玩具、教育の見直しを行っている。また、戸外遊びや園、周辺散歩を積極的に取り入れ、自然事象との関わりを持てるようにしている。子どもが出入りする出入口には靴下を脱いだり、履いたりして園庭に出られるような踏み台がおかれ、子どもが自主的に戸外で遊ぶ事ができるよう配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの成長に合わせて、やりたいという気持ちを大切にし、人との関わりを持てるよう、集団ゲームや共同制作ができるよう保育室を整えている。また、自由に表現したり、友だちと協同的な活動ができるような遊具、用具を設置し、保育室以外でも子どもたちを相談し、安全面に配慮しながら活</p>	

動を行ったりしている。午後の時間には小学校での導入を受けて始めた当別教育プログラムとして、専門講師によるプログラミング、英語、体育などをスタディールームで実施している。	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>認定を受けた子どもには加配の保育士がついているが、気になる子どもについてもクラス担任と連携しながら時には個別に支援をする等して、クラスの子もたちと一緒に活動ができるよう配慮している。園内はバリアフリーで廊下も広く、エレベーターも誤動作が起きないようにする等して、安心して園生活が送れるように配慮されている。また、保護者とは日々のやり取りの中で密な連携を図り、個別支援計画の作成時や必要に応じて専門機関(エールぎふ)への相談や助言が受けられるよう支援している。職員間ではケース会議を行い、日常的に話し合う機会を設け、子どもの状況や発達課題等について情報共有している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>夕方の定時までは、各クラスで保育し、それ以降は未満児もホールに移り、一緒に短いプロジェクトによる映像を見た後、歌、手遊び、紙芝居等で過ごしている。延長保育の子は定時に軽食を摂るが、ゆったりとくつろいだ環境で過ごせるように配慮している。子どもの状況については、担任から遅番の職員に引き継がれるが、保護者に伝える内容を名簿に記入し、伝え忘れないようにしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・(b)・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>駅に近い園であり、市内の多数の学区から子どもたちは通園しているため、将来的に入学する小学校ではなく、近隣の小学校のイベントに参加したり、子どもたちと一緒に公園の清掃活動をする等して園の近隣の小学校と連携を図っている。積極的な交流を通して、学校が楽しく身近であることを感じ取り、入学への期待が持てる機会としている。また、配慮を要する子の連携については、入学後でも学校からの連絡に応じて情報交換をしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>現在、コロナ禍であるため、小学校との交流ができていないとのことである。今後、コロナ禍の状況が改善した場合、再開に向けた取り組みに期待したい。</p>	

IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保健に関する計画を作成し、これに基づいて保育士・看護師・栄養士間で共有し、子ども一人ひとりの健康状態に応じて対応している。日々の怪我や体調不良、感染症については記録をし、状況についても職員間で共有している。また、保護者への対応については、看護師が窓口となって対応を行っている。「園だより」を配布し、その中で健康に関する情報を提供している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月の身体測定や定期的な健診(年2回の内科・歯科健診、年1回の耳鼻科・眼科健診、尿検査)を実施し、健康診断結果については、職員間で情報の共有を図り、保育に反映している。また、保護者にも結果について伝え、治療が必要な場合は受診を勧めたりしている。特に、尿検査について、おむつをしている1歳以下にも工夫して実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アレルギー疾患を持つ子どもについては、状況を確認し、医師の指示書、検査結果を基に毎月、保護者、園長、管理栄養士、担任で面談を行い、除去食か代替食にするか等を決めて提供している。家庭と連携し、徐々に食べられる食品があれば、少しずつ増やしていき、無理なく普通食に移行できるように援助している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>給食は一階のホールに隣接した「ハートインキッチン」と名付けられた給食厨房室で作られており、ガラス越しで、いつでも見える様になっている。1歳未満児は台にのって見る事ができ、2階の以上児のクラスの子どもたちには、吹き抜けとなっているので、匂いや刻む音がわかり、いつでも見る事ができる等、食事を楽しんで待つ環境が整えられている。乳児は落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと食事を楽しむようにしている。また、以上児については自分で食べられる量を担任に伝え、完食できるようにしている。食育活動について、5歳児は食材の皮むきをする等してカレーを作ったり、自分たちで収穫したサツマイモをホットプレートで焼き、クッキング体験等をしたりしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a) b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>献立は、季節感を取り入れ、素材の味を活かした味付けとなっている。また、節分やひな祭り、クリスマス等の季節の行事食も取り入れている。各クラスの食事についての子どもたちの様子は食器返却の折に、保育士から給食職員に伝えている。また、子どもが安心して食べられるよう、自己申告で分量の調整を行っている。</p>	

改善できる点／改善方法：

評価対象V 子育て支援
V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1- (1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ b・c
<p>良い点／工夫されている点： 家庭生活での様子と園での様子は書面(連絡ノート等)による共有以外に、写真や日報、ホームページ等でクラスの様子を伝えている。さらに、日々の送迎時に保護者と対話を重ねる等、保護者の子ども理解・生活理解をひろげる工夫をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2- (1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ b・c
<p>良い点／工夫されている点： クラス担任は、朝夕の送迎時に保護者とのコミュニケーションを図り、相談や悩みを聞き取るように心がけている。また、保護者からの相談内容については、担任間で共有を図っている。延長保育を利用する保護者の場合は、連絡帳を通した支援をきめ細かく行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2- (2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ b・c
<p>良い点／工夫されている点： 疑わしいケースなどでは、出席日数、欠席日数、その理由などを記録し、子ども相談センター等に相談している。それらの報告は、気になる事例も含め、職員間で共有し、見守る体制を取っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1- (1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	Ⓐ b・c
<p>良い点／工夫されている点： 日々の保育実践については、月1回の月案作成時に自らの保育を振り返っている。保育士の自己評価は、秋期と年度末に実施し、その後園長面談を行い、それぞれの反省点を次の課題につなげている。</p>	

今後とも継続して、個々の保育の課題を共通課題として活かすかすべく各クラスで話し合う等して、園全体のさらなる質の向上に向けた取り組みに期待したい。
改善できる点/改善方法：

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	① a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 令和2年に防犯カメラを導入し、警備会社と契約し、何か異常があった場合には、直ぐ連絡が行き、対応してもらえるようになっている。また、不審者情報について、警察や小学校と連携を図り、情報の連絡が入るようになっている。毎月、不審者対応訓練を実施している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a・① b・c
<p>良い点/工夫されている点： 保育参観については、できる限り多く保護者が参加できるように、年度当初に年間行事予定で配布している。また、おやつ参観や懇談会を行い、子どもの様子を見てもらったり、家庭での様子や困っていること等を話し合う等して、懇親を深めている。出席できなかった保護者には日報やホームページでその様子を掲載したり、担任から個別に伝えるようにしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 今後、保護者が子どもとのかかわりを知るために、例えば、絵本を読んだり、一緒に創作する時間を設ける等、保護者が保育に参加できる機会の拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	① a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 園では行事の前に保護者会と職員で話し合いを行い、各行事のプレゼント選びをお願いしている。また、人形劇やコンサート、年長児のけん玉指導等を依頼している。会が活動する場合は、園を提供したり、役員選出時には職員も立ち会っている。現在、コロナ禍であり、例年の行事や会の開催が困難な状況であるが、運動会については保護者会との協力を基に、3部制(0歳～1歳、2歳～3歳、4歳～5歳)で分けて、小学校体育館で時間差をつけて実施した。また、会についても開催ができず、変則的であり、総会については書面決議で行ったとの事である。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： 現在は、コロナ禍の影響で参加が困難な状況にあるが、例年は、幼保小合同研修会に参加し、情報共有したり、連携を取ったりしている。	
改善できる点／改善方法：	